

Syn. *Irpiciporus japonicus* MURR.

Mycologia I : 166, 1909; NOHARA.

S., l.e. XXIV : 6, 1910, syn. nov.

Irpex japonicus (MURR.)

SACC. et Trott., l.e. VI ; 377, 1910;

YASUDV, A., Bot. Mag. Tôkyô

XXVII : 561, 1913, syn. nov.

Nom. Jap.: にくうすばたけ、うすばたけもどき

Distrib.: Japan (Honshû, Shikoku, Kyûshû, Chôsen); China.

本種ハなら、かしノ類ノ切株等ニ
多數重生スル菌デ、最モ普通ニ産スル
菌ノ一種デアル。

本研究ノ一部ハ日本學術振興會ノ
補助ニヨツテ行ハレタルモノデ、是ヲ明記シ同會ニ深謝ノ意ヲ表スル。

(東京科學博物館ニ於テ)

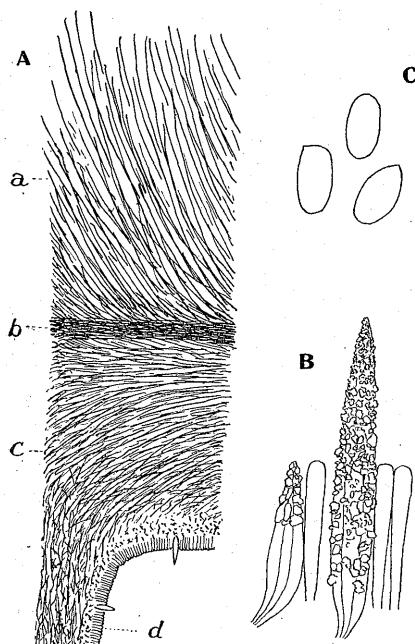


Fig. 7. *L. mirabilis*. A. radial section of pileus. a, hairy covering. b, inner crustal layer. c, trama. d, hymenium. B, Cystidia. C, spores. (A and B, drawn from the co-type specimen of *Irpiciporus Noharæ* MURR.)

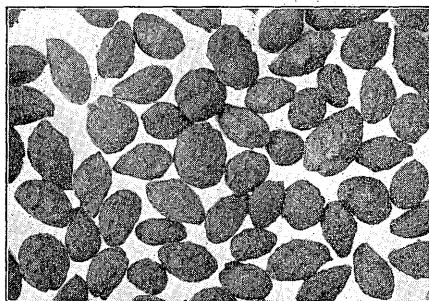
中華ノ稀観生薬雜記(其一)

石戸谷 勉

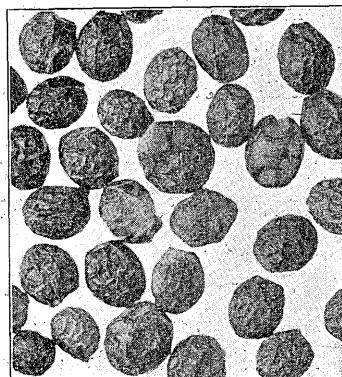
T. ISHIDOYA: Miscellaneous Notes on Chinese Materia Medica (I)

- 1) 鴉膽子 昨夏蒙瘡カラ余ノ帶來シタ生薬中ニ鴉胆子 Ya-tan-tzu ト云フ品ガアル、ヨク見ルトソレハ余ノサキニ Chinesische Drogen 第3卷第75頁ニ
鴉膽子トシテ報ジタ藥材ト同種ノモノデ、果皮ノ色ニ濃淡ノ差ガアルダケデアル。更ニ其ノ品ヲ精検スルニ、ソノ形態、内部ノ構造、種仁ノ味ハ強烈ニ苦キ

コトナドハ朝鮮ノ漢方藥肆ニ見出サレル蘇臺木實、即チ *Picrasma ailanthoides* var. *dasyarpa* にがきノ果實ト似テキル。コノ味ノ苦キ點ニ似テキルモノニハ鳳眼子、即チ *Ailanthus glandulosa* 檉ノ實ガアル。頃者臺灣ノ臺北帝大ノ張洪蚶君カラ同地產ノ苦木科ノ *Brucea sumatrana* ノ實ヨリ成ル鴉蛋子ヲ送ツテクレタノデ余ノ品ト比較スルニ全ク同種ニ屬スルモノデアル。余ハコノ生藥ノ母植物ヲ囊ニ大戟科ノモノラシト考ヘタノハ誤リ、ソレハ苦木科ノ *Brucea* 屬植物ノ石果カラ成ルモノデアルコトガワカツダ。コノ屬ノ植物ハ支



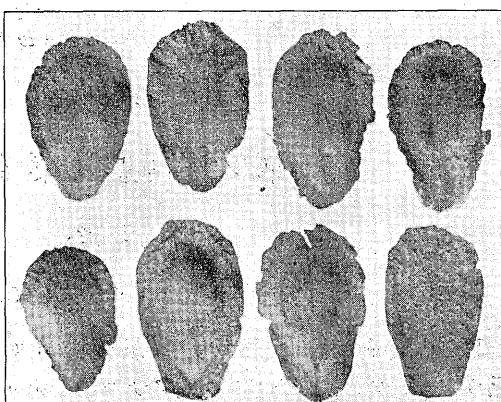
第1圖 鴉蛋子 *Brucea* sp. ノ石果ヨリ
成ル生藥 ($\times 1$)



第2圖 蘇臺木實 *Picrasma ailanthoides* var. *dasyarpa* ノ石果ヨリ
成ル生藥 ($\times 1$)

那ニ二種アリ、何レモ南部ノ產ズ、*Brucea amarissima* ハ廣東ニ、*Brucea sumatrana* ハ福建、廣東地方ニ分布スルト云フ。鴉蛋子ト云フ藥名ハ明ノ趙學敏ノ本草綱目拾遺第5卷ニ收載サレテアリ、一名苦參子ト云ヒ、閩廣ノ藥肆ニ皆之アリ、形梧子大、仁ニ油多々、生食セバ人吐シ、霜作シ、槌キテ油ヲ去リ藥ニ入レテ佳ナリト記事ハアル。(第1第2圖参照)。

2) 地爪子 察哈爾ノ多倫諾爾ノ蒙古藥ヲ售ル藥舗ヨリ求メ來タ喇嘛醫藥ノ中ニコノ名ノ品ガアル、精檢スルニ、ツレハコノ地方ニ最モ普通ニ



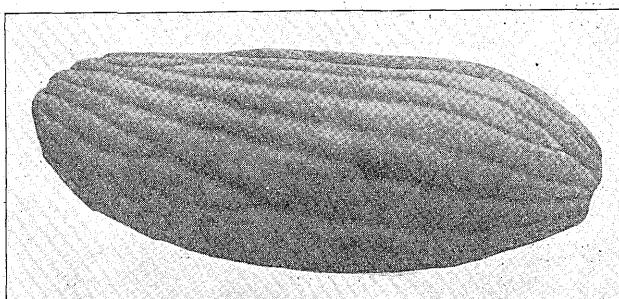
第3圖 地爪子 *Cynanchum sibiricum* var. ノ
種子ヨリ成ル生藥 ($\times 5$)

野生シテキル雀瓢、即チ *Cynanchum sibiricum* ノ種子ヲ採リ集メ、ソノ冠毛ヲ除去シタモノデアル、コノ生藥ハ朝鮮満洲ノ漢方藥局ニハ見出サレナイ(第3圖参照)。

3) 地丁 多倫諾爾カラ持來レル品=地丁又ハ帝丁ノ名ノアル生藥ガアル、檢スルニ龍膽科ノ *Swertia chinensis* ト *Gentiana barbata* ノ全草ノ乾材カラ成ツテキル、本草綱目第十卷ニ載セテキル紫花地丁ノ圖ハ俗ニ考ヘテキルトコロノすみれ属ノモノデハ無イト思ハレル、四川省ニ於テハ *Gentiana squarrosa* =紫花地丁ノ名ガアルト云ハレテキル。

4) 仙人頭 热河省赤峰ノ藥肆カラ出デタル生藥ニコノ名ノ品ガアル、大サ 10 cm 許、太サ 3 cm 許ノ肥大根ノ乾物ヨリ成リ、外皮ニ微ニ紅色ヲ殘存シテキルモノモアル、之ハ彼ノ地方ノ野菜市場ニ普通ニ見ラレル赤だいこん、即チ *Raphanus sativus* ノ老根ノ乾材デアリ、支那本草ノ萊菔根ノ一品ニ屬スルモノデアラウ。

5) 毛角 包頭ノ藥舗カラ持來レル品=毛角ト稱スル品ガアル、一見牡蠣ノ殻ノ如ク形扁平、橢圓形、長サ 5-6 cm 許、細檢スルニ之ハ本草ノ菴摩勤ニ屬スルモノデ、*Mango* ノ核デアル、コノ種殻ニ粗毛ハ澤山生エテキル故ニ毛角ノ名ノ生レタモノト思ハレル(第4圖参照)。



第4圖 毛角 *Mango* ノ核 (x1)

6) 蘭米 余ハ曩ニ Chinesische Drogen 第3卷第41頁ニ *Acorus* 屬植物ノ花ノ乾材ヨリ成ル蘭花子ト稱スル生藥ニ就テ報告シテオイタ。今回、包頭、張家口ノ藥肆ヨリ求メ來レル品=蘭花子又ハ蘭米ト稱スル品ガアル、檢スルニ細カキ花部ノ乾材ヨリナリ。短キ明カナル花梗ヲ具シ、花瓣、萼ハ各五、トモニ瓦狀ニ排列シ、雄蕊ハ下部着合シテ管ヲナシ雌蕊ヲ包シシキル、コレ棟科ノ *Aglaia odorata* ノ花蕾ヨリ成ルモノデ、朝鮮、満洲ノ藥舗ニハ全ク見ナイ生藥デアル。

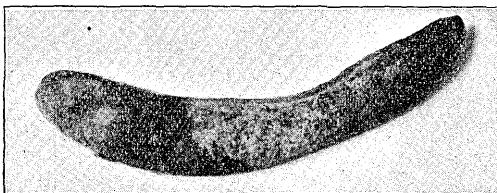
7) 達子香 包頭ノ藥肆ヨリ來レル品=達子香ト云フ生藥ガアル、見ルト躊躇科ノ *Rhododendron micranthum* こごめつづじノ花ト葉ヲ着ケタル小枝ノ乾材デアル、コノ植物ハ北支那ニハ普通ニ野生シテキル、中華ノ本草ニコノ植

物ヲ藥用ニ供スルコトノ記ヲ見ナイ、恐クハ蒙古藥ニ屬スルモノデアラウ。

8) **金蓮花** 蒙疆ノ藥舗ニ金蓮花ノ名ノモトニ售ル生藥ニ二品アル、其ノ一ハ毛茛科ノ *Trollius asiaticus* ノ花部ヲ満開又ハ半開ノ頃採リテ乾材トシタモノデ、黃金色ノ花瓣ハソノマヽノ色ヲ保ツテキル、五臺山アタリカラ出タモノト思フ、他ノ一品ハ荳科ニ屬スルモノデアル。

9) **番瀉葉** 北支・蒙疆ノ藥舗ヲ訪レルト、ソコニ稀ニ番瀉葉又ハ番杏葉ト稱スル葉ノ乾材ヲ見出スコトガアル、求メ來リテ檢スルニセンナ葉、即チ *Cassia angustifolia* ノ葉デアル、コノ名ハ中華ノ本草ニ見出サレナイ、恐クハ近時漢方藥ノ仲間入ヲシタモノデアラウ。

10) **猪牙皂** 中華ノ藥肆ニ荳科ノ *Gleditzia* ノ果莢ヨリナル乾材ハ數品アリ、大皂、猪牙皂等ノ名ガアル、余ハ囊ニコノ小形ノ品ニ Chinesische Drogen 第1卷ニ於テ *Gleditzia officinalis* HEMSLY ノ當テヽオイタ、余ノ有スル標本ハ長サ 10 cm 許、大サ 1 cm 許、最モ小形ノモノハ長サ 7 cm =過ギナイ、E. H. WILSON 氏ハコノ植物ノ莢ハ長サ 10-12 cm、幅 1.5-1.6 cm ト記シテ居リ、李順卿氏ハ長サ 7 cm、幅 1 cm ト記シテ居リ SCHNEIDER 氏ハ Hemsley ニヨリテ



第5圖 猪牙皂 *Gleditzia officinalis* ノ莢ヨリナル
ル生藥、小形ノモノ ($\times 1$)

11:1 cm ト記サレテキル、コ
ノ植物ニ就テ本誌昭和 12 年 12 月
號ニ中井博士ハコノ植物ハ
朝鮮ノ慶北、慶州ニ栽培品ノア
ツタコトヲ報ジ、實物ノ 1/3 大
ノ寫眞ヲ載セテアル、ソノ寫眞
ニヨリ莢ノ大ヲ計ルニ長サ 7

cm、幅 1 cm ハアル、之ヲ 3 倍スルト長サ 21 cm、幅 3 cm アリ余ノ有スル *Gleditzia officinalis* ノ莢ト同定セルモノトハ其ノ形狀及大サヲ全ク異ニスルコトニナル、中井博士ノ云フ品ハ恐クハ他ノ種ニ屬スルモノデアラウト考ヘル(第 5 圖参照)。